



山本乾燥情報

台風や雨の影響で、圃場で稲の倒伏がみられます。倒伏した稲の場合、水分がばらつきますので乾燥作業には十分ご注意ください。

冠水、倒伏について



倒伏

冠水した場合は、穂先や葉が出るように速やかに排水してください。

穂が地面についている場合は、圃場発芽を防ぐため、隣り合った株の上に穂を持ち上げて乾燥させてください。

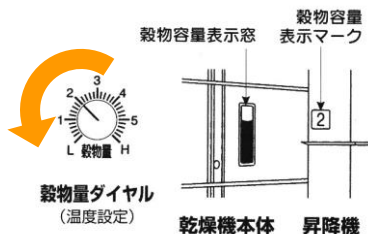
収穫直前の稲は、可能な限り速やかに収穫しましょう。

倒伏した稲と正常の稲は、刈取り・乾燥を別々に行うのが理想です。
※良いお米に混入すると全体の等級低下につながります。

水分の異なる二つの圃場から収穫した籾を一つの乾燥機に入れると、水分ムラが発生します。水分ムラを抑えるにはゆっくり乾燥・調質乾燥が有効です。

《対処法》①低温でゆっくり

穀物量ダイヤルを下げます

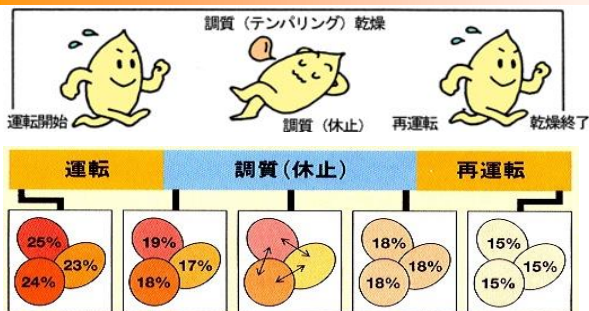


温度：さがります

乾減率：ゆるやかになります

循環：機械が最適に調整します

《対処法》②調質(休止)乾燥・2段乾燥



※調質 (休止) 乾燥とは、18~19%の水分まで通常の乾燥を行い、その後、完全休止 (5時間以上が理想) する事で水分のムラを少なくすると共に、穀温を下げ胴割れの予防も行います。